

愛媛県立図書館利用案内

★本を借りるとき★

1. カウンターで「利用カード」を作りましょう。
 - ・愛媛県在住・在学の方は、だれでもカードを作ることができます。
 - ・本人の住所確認ができるもの（生徒手帳や保険証など）が必要です。
2. 本は、**5冊まで3週間**借りられます。
 - ・カウンターに、借りたい本とカードを出してください。

★本を返すとき★

1. 返す本をカウンターに出してください。（カードはいりません。）
 - ・次の予約が入っていない場合、延長ができます。
2. 図書館が閉まっているときは、玄関外の返却ポストに入れてください。

★本を探すとき★

1. 図書館の検索用コンピュータで探すことができます。
（書名や著者名で検索できます。）
2. インターネットや携帯電話から探すこともできます。
※分からないときには、カウンターでたずねてください。

★本を予約するとき★

1. 予約カードに必要事項を記入して、カウンターに出してください。
2. パスワードを登録すると、インターネットや携帯電話から予約することもできます。
※パスワードの登録は、カウンターで申請してください。

愛媛県立図書館

〒790-0007 愛媛県松山市堀之内
TEL: 089-941-1441(代) FAX: 089-941-1454
<https://www.ehimetosyokan.jp>



★開館時間★（火～金） 9:40～19:00
（土日・祝日）9:40～18:00
（子ども読書室は17:00まで）

★休館日★ 月曜（祝日の場合は直後の平日）、館内整理日（月末）、
年末年始、特別整理期間（3月中10日以内で館長が定める日）

携帯サイト <https://www.ehimetosyokan.jp/winj/mobileopac/top.do>

スマートフォンサイト <https://www.ehimetosyokan.jp/winj/sp/top.do>

愛媛県立図書館 Y Aコーナー

Y A っうしん

Vol. 59 2019. 3

★Y Aコーナー展示★3月～4月

私たち、平成生まれ



★新刊案内★

- ☆『コンピュータ、どうやってつくったんですか?』川添 愛／著
東京書籍
- ☆『トリノトリビア 鳥類学者がこっそり教える野鳥のひみつ』
川上 和人／監修 西東社
- ☆『めんそーれ!化学』盛口 満／著 岩波書店
- ☆『人生を変えるアニメ』河出書房新社／編 河出書房新社
- ☆『しびれる短歌』東 直子、穂村 弘／著 筑摩書房
- ☆『給食アンサンブル』如月 かずさ／著 光村図書出版
- ☆『ひゃっか! 全国高校生花いけバトル』今村 翔吾／著 文響社
- ☆『ヴァンダーカンマー ここは魅惑の博物館』榎崎 茜／著 理論社
- ☆『トラペジウム』高山 一実／著 KADOKAWA
- ☆『エヴリデイ』デイヴィッド・レヴィサン／作 三辺 律子／訳 小峰書店

私たち、平成生まれ

平成から新しい時代へ。YA世代と同じ「平成生まれ」の人がこれからますます活躍することでしょう。応援の気持ちを込めて平成生まれの作家・有名人の本を集めました。

『チア男子!!』

朝井 リョウ／著 集英社

(平成元年生まれ)

男子だけのチアリーディングチーム「BREAKERS」を結成したハルとカズ。集まったメンバーは個性派ぞろい、しかもほぼ全員が初心者。派手な技を完成させるまでの道は遠いけれど……。

思いが一つになったとき、そこに笑顔が生まれる。



『屋上のウインドノーツ』

額賀 滯／著 文藝春秋

(平成2年生まれ)

通っていた有名中高一貫校を離れ、たった一人で県立高校へ進学した志音は、偶然出会った先輩に誘われて吹奏楽部に入部した。今までとまったく違う環境の中で、志音は新しい自分を見つけ出す。



『青い春を数えて』

武田 綾乃／著 講談社

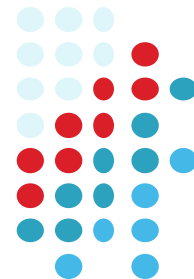
(平成4年生まれ)

高校生活には「青春」の一言では言い表せない、いろいろな思いが詰まっている。連作短編5編の中に、あなたのそばの誰か……もしかしたら、あなた自身がいるかもしれない。読み終えた後に表紙をもう一度見直したくなる。



2019. 3. 1~4. 25

他に、『錦織圭 リターンゲーム』、『星に願いを、そして手を。』、『藤井聡太 名人をこす少年』、『烏に単は似合わない』、『リーダー論』などを展示しています。



『夢を生きる』

羽生 結弦／著 中央公論新社

(平成6年生まれ)

2015年から2018年平昌オリンピック直前までの記録。アクシデントを乗り越え五輪王者として進化する姿、伝説のプログラム「SEIMEI」を作り上げるまでの日々、世界最高得点更新の瞬間。インタビューと写真からその時々の心の動きが見えてくる。



『さよなら、田中さん』

鈴木 るりか／著 小学館

(平成15年生まれ)

花実とは、豪快で生命力あふれるお母さんと暮らす小学6年生。友達や近所の人たちとの日々は、ありふれているようでそうでもないようで……。子どもだって、大人だって、いろいろあるんだよ。



メールでもご質問やご意見を受け付けます。

アドレスは、ya@libnet.ehimetosyokan.jp
(件名に「YAメールレファレンス」と入れてください。)

★お名前、連絡先メールアドレスも忘れずに入力してください。